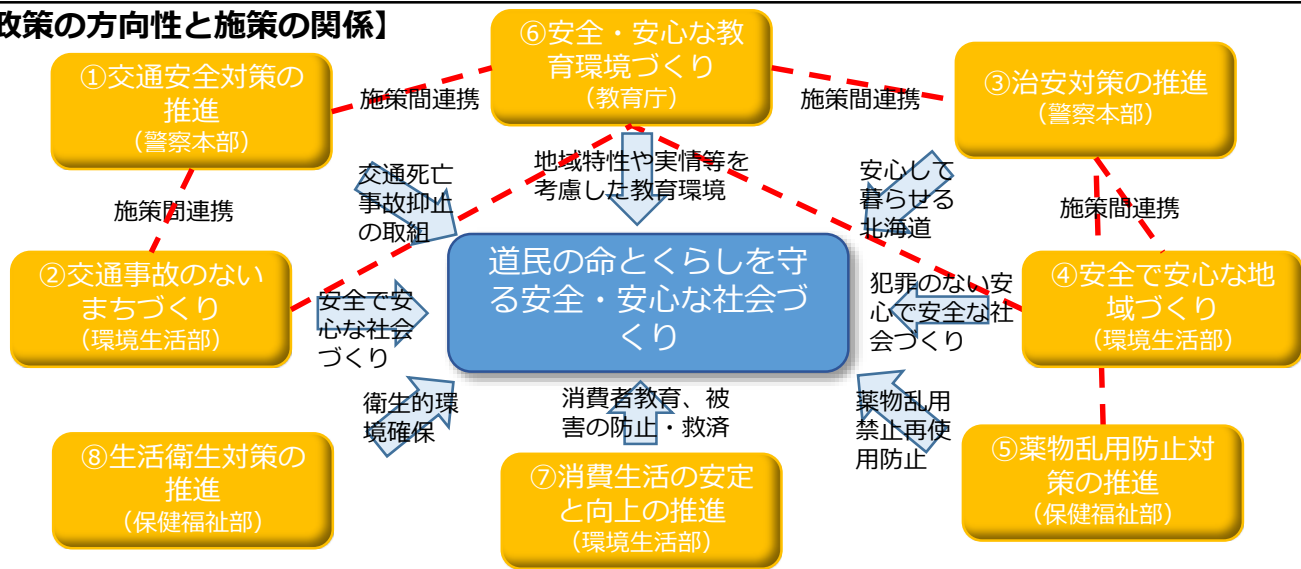


1 分野：生活・安心
 (5) 政策の柱：道民生活の安全の確保と安心の向上
 A 政策の方向性：道民の命とくらしを守る安全・安心な社会づくり

【政策の方向性と施策の関係】

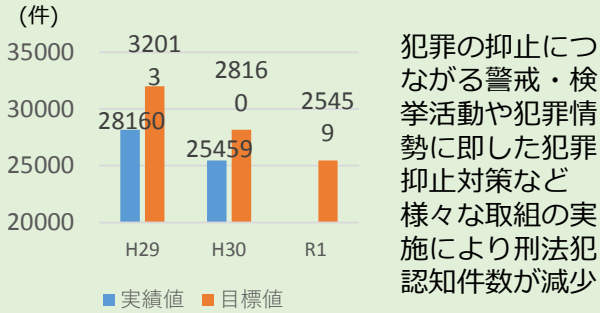


施策名	課題等	主な取組	総合評価
①交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・全死者に対して高齢者が半数以上の高い割合を占めている ・悪質・危険な運転による悲惨な重大事故が後を絶たない 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通事故情勢を踏まえた効果的・効率的な交通安全活動の推進 ○交通事故抑止に資する交通指導取締りの推進 ほか3つの取組	概ね順調に展開
②交通事故のないまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢運転者が原因となった事故の割合が増加 ・道内で飲酒運転を伴う死亡事故が後を絶たない 	<ul style="list-style-type: none"> ○飲酒運転を根絶するための取組 ○夜光反射材の効果や必要性について理解を深めるための啓発 ほか8つの取組	概ね順調に展開
③治安対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・認知件数・被害額ともに高い水準を維持している特殊詐欺 ・人身安全関連事案や国際テロ、サイバー空間の脅威も深刻化 	<ul style="list-style-type: none"> ○犯罪の起きにくい社会づくり ○子供、女性、高齢者等の犯罪被害防止等 ○テロの未然防止 ほか3つの取組	概ね順調に展開
④安全で安心な地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な地域づくりに向けた道民運動の推進が必要 ・犯罪被害者等への総合的な支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心な地域づくりメールマガジンの周知や登録者の増加促進 ○北海道犯罪被害者等支援懇談会の開催 ほか2つの取組	効果的な取組を検討し引き続き推進
⑤薬物乱用防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の社会を担うべき青少年の乱用問題が深刻化 ・若年層の大麻による薬物事犯が、依然として後を絶たない 	<ul style="list-style-type: none"> ○普及啓発、薬物乱用防止教室実施、麻薬等の適正管理・使用に向けて立入検査 ○重点除去地域を中心に野生大麻及び不正けしの除去対策 	概ね順調に展開
⑥安全・安心な教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪が後を絶たない ・様々な災害に備える必要 ・い乃整備が十分に進んでいない ・国際的に活躍できる人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校における生活安全に関する教育の充実 ○交通安全に関する教育の充実 ○災害安全に関する教育の充実 	効果的な取組を検討し引き続き推進
⑦消費生活の安定と向上の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な消費者被害が依然として後を絶たない ・消費生活に関する知識の習得など消費者の自立支援を図る必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村における消費生活相談体制の維持強化等を図る取組を支援 ○若年者向け消費者教育・啓発の取組充実 ほか5つの取組	概ね順調に展開
⑧生活衛生対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設や生活衛生関係施設の衛生的環境の確保が必要 ・不適切な衛生管理は道民生活の衛生水準の低下に繋がる 	<ul style="list-style-type: none"> ○特定建築物の届出受理及び報告徴収 ○生活衛生関係営業施設に対する許可や監視指導要領に基づく監視指導 ほか3つの取組	効果的な取組を検討し引き続き推進

1 分野：生活・安心
 (5) 政策の柱：道民生活の安全の確保と安心の向上
 A 政策の方向性：道民の命とくらしを守る安全・安心な社会づくり

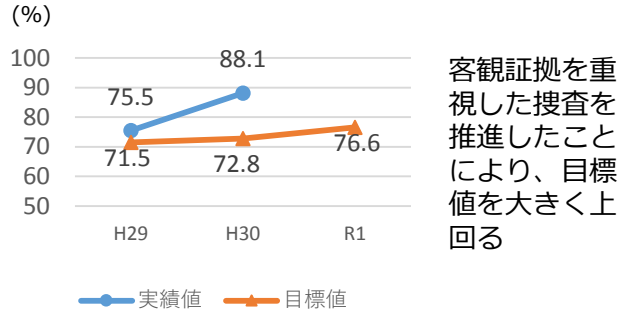
【総合計画の指標】

刑法犯認知件数（件）（施策③⑤）



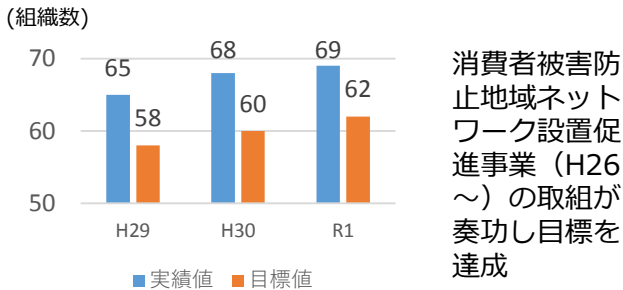
犯罪の抑止につながる警戒・検挙活動や犯罪情勢に即した犯罪抑止対策など様々な取組の実施により刑法犯認知件数が減少

重要犯罪の検挙率（%）（施策③⑤）



客観証拠を重視した捜査を推進したことにより、目標値を大きく上回る

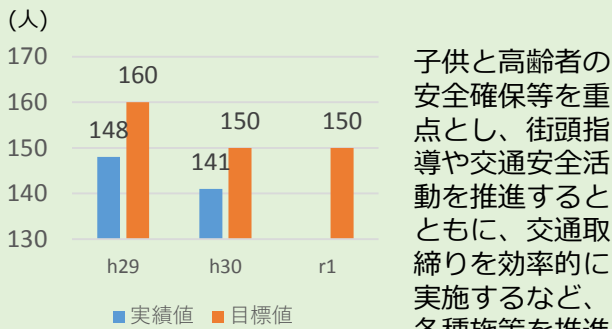
消費者被害防止地域ネットワーク組織数（施策⑦）



消費者被害防止地域ネットワーク設置促進事業（H26～）の取組が奏功し目標を達成

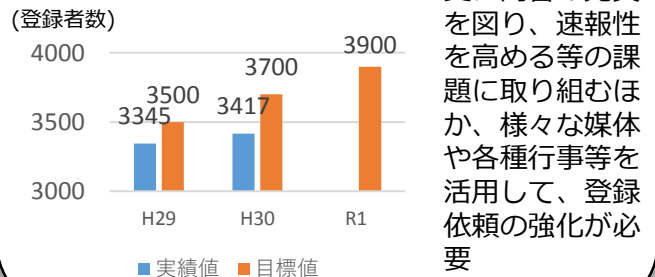
【関連指標】

交通事故死者数（人）（暦年）（施策①②）



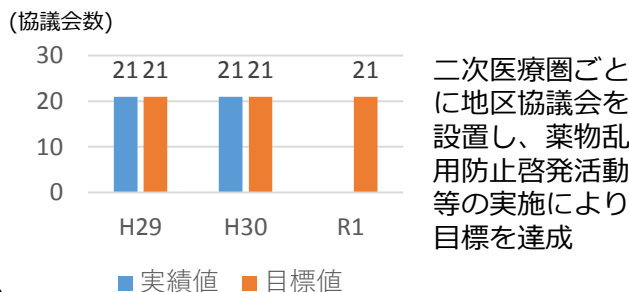
子供と高齢者の安全確保等を重点とし、街頭指導や交通安全活動を推進するとともに、交通取締りを効率的に実施するなど、各種施策を推進

「安全安心な地域づくりメールマガジン」登録者数（施策④）



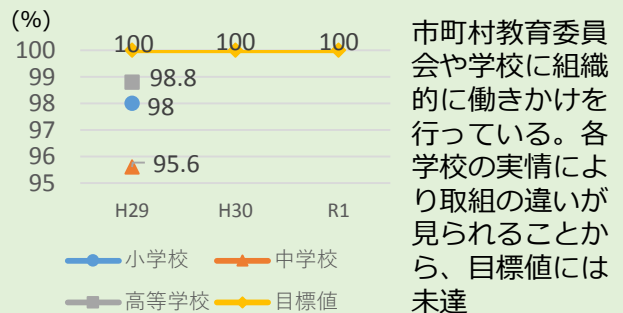
更に内容の充実を図り、速報性を高める等の課題に取り組むほか、様々な媒体や各種行事等を活用して、登録依頼の強化が必要

薬物乱用防止啓発活動を行っている北海道薬物乱用防止指導員各地区協議会数（施策⑤）



二次医療圏ごとに地区協議会を設置し、薬物乱用防止啓発活動等の実施により目標を達成

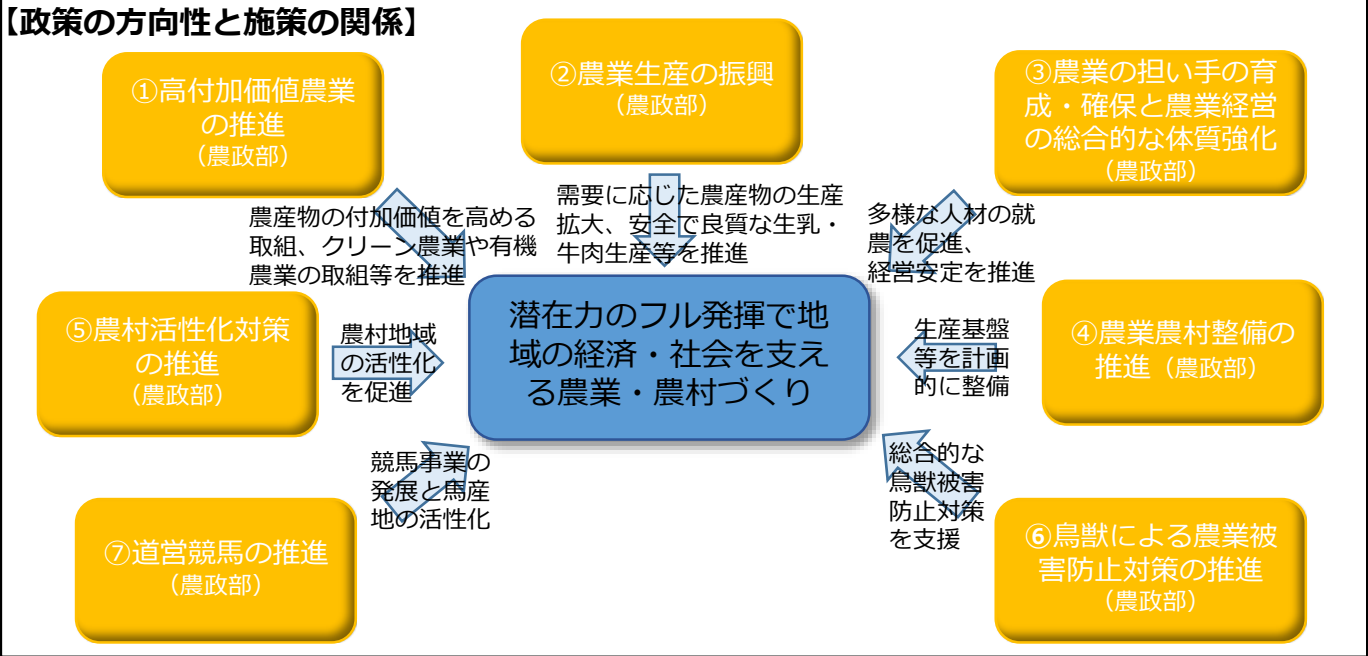
防犯訓練等の実施状況（小学校、中学校、高等学校）（施策⑥）



市町村教育委員会や学校に組織的に働きかけを行っている。各学校の実情により取組の違いが見られることから、目標値には未達

【ほか1つの関連指標】

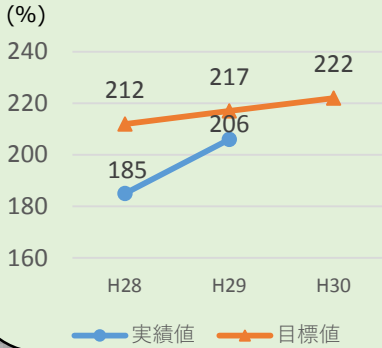
【政策の方向性と施策の関係】



施策名	課題等	主な取組	総合評価
①高付加価値農業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 農業の持続的発展や消費者の多様なニーズに応える農業の振興 6次産業化をはじめとする農産物の付加価値を高める取組への支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道6次産業化サポートセンターを運営 ○新商品の開発や加工・販売施設の整備 ○YES!clean表示制度の運用等への支援 ほか8つの取組 	効果的な取組を検討し引き続き推進
②農業生産の振興	<ul style="list-style-type: none"> 経営を取り巻く環境は厳しく、生産基盤の維持・強化が急務 安定的な食料の生産・供給を図ることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○需要に応じたこめ産地づくりを推進 ○スマート農業に関する情報の共有・発信、技術課題の検討・対応 ほか22の取組 	概ね順調に展開
③農業の担い手の育成・確保と農業経営の総合的な体質強化	<ul style="list-style-type: none"> 農家戸数の減少や農業従事者の高齢化が進展 意欲と能力がある担い手の育成・確保、農業経営の総合的な体質強化を図ることが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○新規就農者の育成・確保 ○担い手の経営体質の強化 ○農業法人の育成 ほか3つの取組 	効果的な取組を検討し引き続き推進
④農業農村整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心で高品質な農産物の安定供給には、農業生産力向上による生産コストの低減が重要 農業生産基盤整備の計画的な推進が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○水田地帯の生産基盤の整備 ○畑地帯の生産基盤の整備 ○酪農地帯の生産基盤の整備 ほか2つの取組 	概ね順調に展開
⑤農村活性化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活力が低下しており、その対策が必要 本道農業・農村に対する道民理解の促進が一層重要 	<ul style="list-style-type: none"> ○農業・農村の多面的機能を支えるための地域の共同活動に対し支援 ○都市住民への情報発信を実施 ほか4つの取組 	効果的な取組を検討し引き続き推進
⑥鳥獣による農業被害防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣による被害は農林水産業被害、生活被害が甚大 農業被害は漸減傾向だが鳥獣被害防止対策の支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域協議会等が取り組む総合的な鳥獣被害防止対策を支援 ○事業の推進指導を実施 	効果的な取組を検討し引き続き推進
⑦道営競馬の推進	<ul style="list-style-type: none"> 競馬の基本となる競走馬の確保が大きな課題 安定的に継続した事業展開のため、発売拡大が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○本賞金・出走手当の引き上げ ○門別競馬場にキャッシュレス投票を導入 ほか5つの取組 	概ね順調に展開

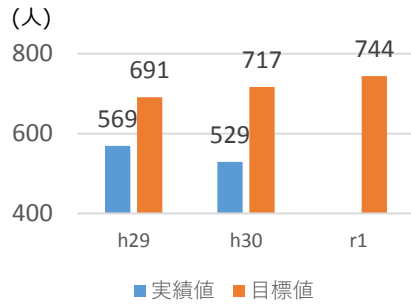
【総合計画の指標】

食料自給率（カロリーベース）（%）
（施策①②③④）



食料消費全体に占める米の割合の減少や、畜産物の国産品の増加以上に輸入品が増加したこと等の国内全体の事情から、目標値の9割程度に止まった

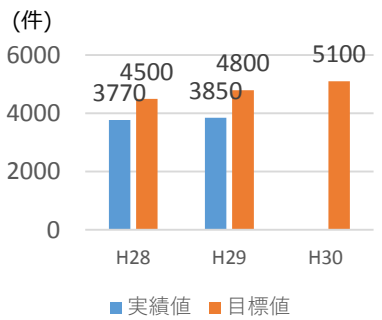
新規就農者数（人）（暦年）（施策③）



新参入者は毎年120名程度確保できているが、親元就農者の減少をカバーできるほどではなく、全体としては、目標の7割程度に止まった

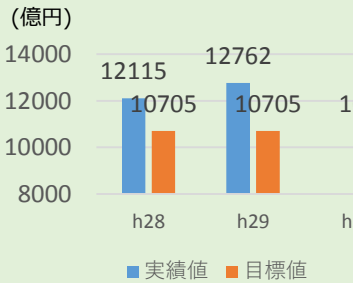
【関連指標】

6次産業化に取り組む事業体数（件）（施策①）



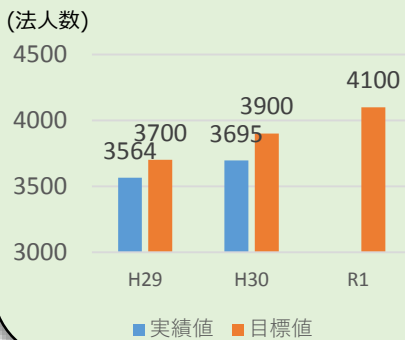
高齢化等による農家戸数の減少に伴い取組事業体数は減少しているが、販売金額は増加傾向

農業産出額（億円）（暦年）（施策②）



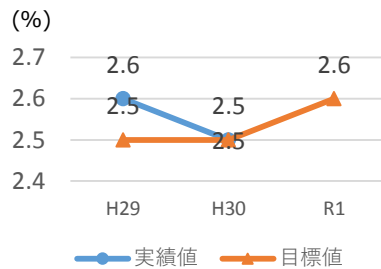
畑作物の作柄が良好であったことや、野菜、酪農及び肉用牛生産における生産物価格が好調なこと等から、基準年を上回る産出額となった

農業法人数（施策③）



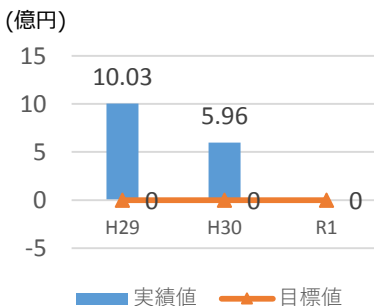
北海道農業法人化等支援協議会を設立し農業経営者サポート事業を推進しており、効果が一定程度発現

ふれあいファームに登録している農家の割合（%）（施策⑤）



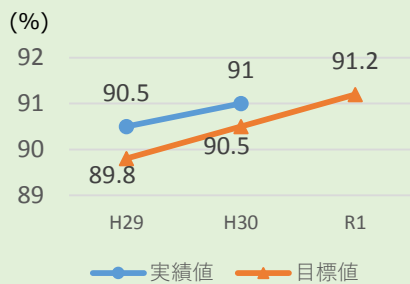
販売農家戸数が減少する中、ふれあいファームの登録件数も減少したが、新規登録もあり登録割合は維持

競馬事業の収支（施策⑦）



ホッカイドウ競馬本体での発売増と他地方競馬及びJRA馬券の発売増による手数料収入の増により、H30年度における単年度収支が5億9千6百万円の黒字

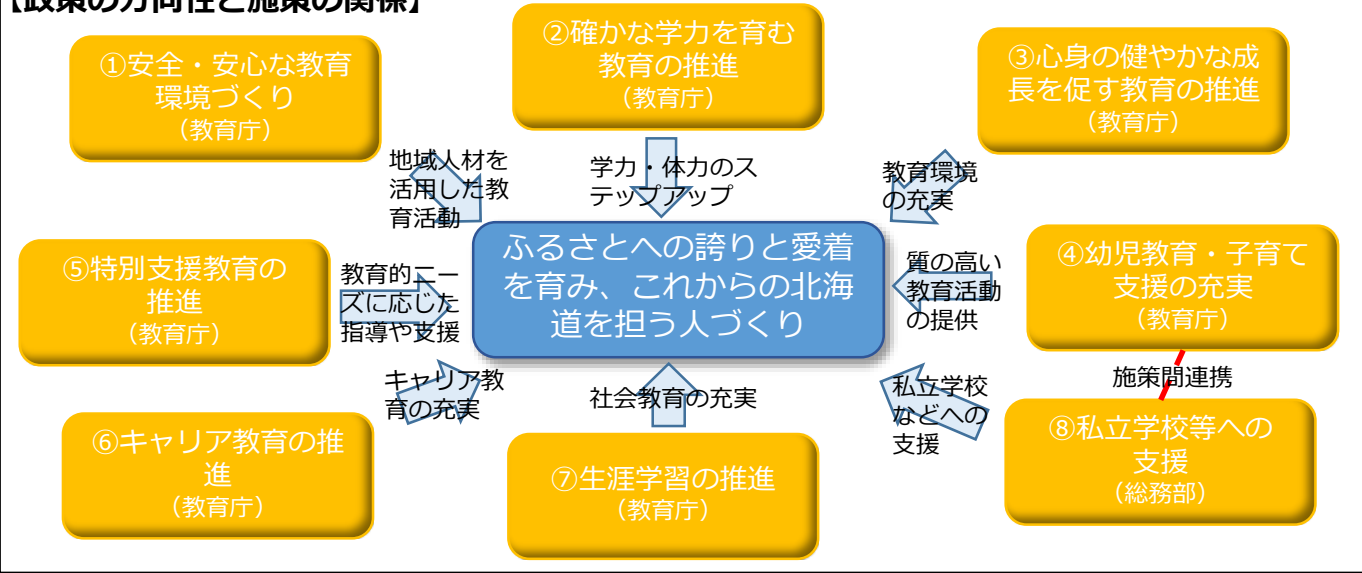
担い手への農地の利用集積率（施策③）



市町村や農地中間管理機構等の実施主体の実績を表す指標であり、道は取り組みを促進する形で関与

3 分 野：人・地域
 (2) 政策の柱：北海道の未来を拓く人材の育成
 A 政策の方向性：ふるさとへの誇りと愛着を育み、これからの北海道を担う人づくり

【政策の方向性と施策の関係】



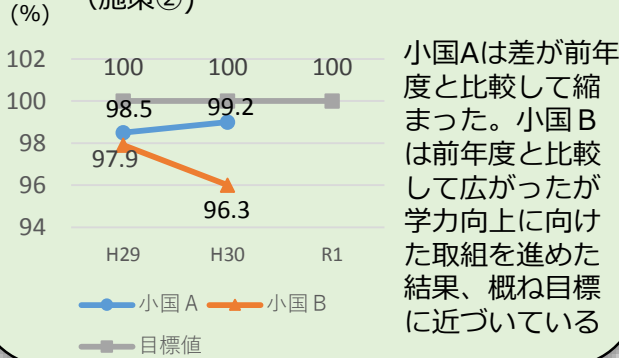
施策名	課題等	主な取組	総合評価
①安全・安心な教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとに誇りを持ち、地域や産業を支える人材の育成が必要 国際的分野で活躍できる人材の育成が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 生活安全に関する教育の充実 交通安全に関する教育の充実 学校における災害安全に関する教育の充実 	効果的な取組を検討し引き続き推進
②確かな学力を育む教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査では多教科で全国平均を下回っている 国際的な分野で活躍できる人材の育成が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や学校の実態に応じた支援 家庭教育に関する学習機会の充実 I C Tを活用した遠隔授業・研修の推進ほか13の取組 	効果的な取組を検討し引き続き推進
③心身の健やかな成長を促す教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 全国体力・運動能力、運動習慣等調査で全国平均を下回っている 望ましい食習慣の定着が課題 	<ul style="list-style-type: none"> 学校における体力向上の取組の推進 児童生徒の運動機会の充実 連携・協働した食育の推進ほか4つの取組 	概ね順調に展開
④幼児教育・子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 幼児教育の重要性への認識が高まっている 幼児教育施設間の交流や情報交換の機会の確保が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教諭、保育教諭及び保育士等を対象とした研修の実施 幼児教育と小学校教育等との接続の促進ほか4つの取組 	効果的な取組を検討し引き続き推進
⑤特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期から学校卒業後まで切れ目のない指導や支援が必要 障がいの重度・重複化等に対応した指導や支援の充実が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、小・中学校、高等学校等における特別支援教育の充実 高い専門性に基づく特別支援教育の推進ほか4つの取組 	概ね順調に展開
⑥キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとに誇りを持ち、地域や産業を支える人材が必要 国際的な分野で活躍できる人材の育成が必要 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアガイダンスを充実 様々な事業所におけるインターンシップの充実ほか2つの取組 	概ね順調に展開
⑦生涯学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の良さに触れる機会や課題を学ぶことが必要 学んだ成果を活かしている道民の割合は6割程度と少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたる学習活動の促進 地域における組織的な教育活動を促進するための人材育成ほか2つの取組 	概ね順調に展開
⑧私立学校等への支援	<ul style="list-style-type: none"> 施設における空気環境の調整等を適切に実施する必要 施設の衛生管理が低下すると、衛生水準確保が図られなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 特定建築物の届出受理及び報告徴収 生活衛生関係営業施設に対する許可や監視指導要領に基づく監視指導ほか3つの取組 	概ね順調に展開

【施策の詳細については、評価調書をご覧ください】

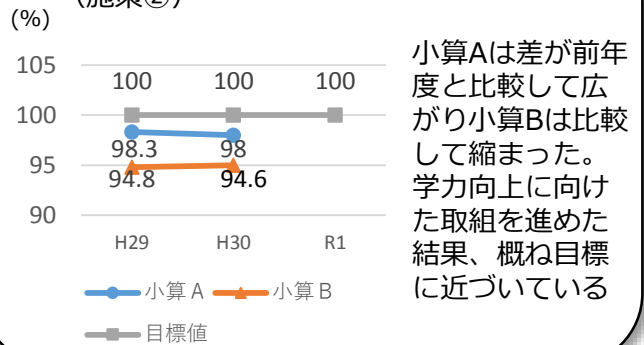
<総合計画施策推進状況>

【総合計画の指標】

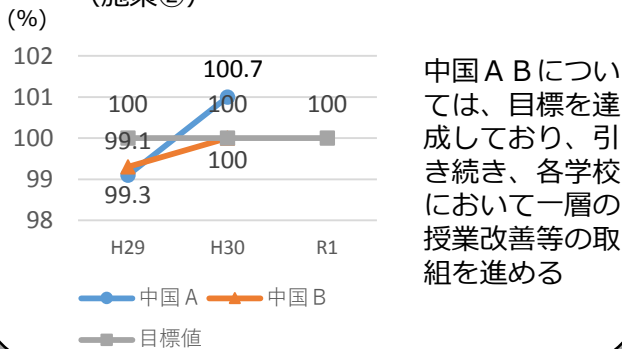
平均正答率の状況（小学生の国語AB）
（施策②）



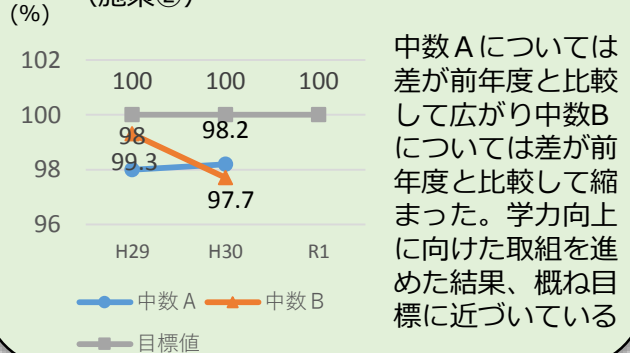
平均正答率の状況（小学生の算数AB）
（施策②）



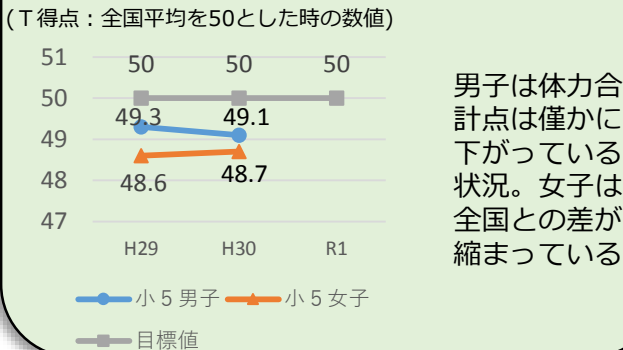
平均正答率の状況（中学生の国語AB）
（施策②）



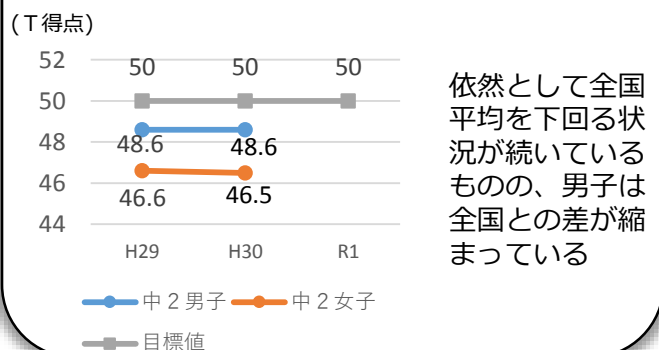
平均正答率の状況（中学生の数学AB）
（施策②）



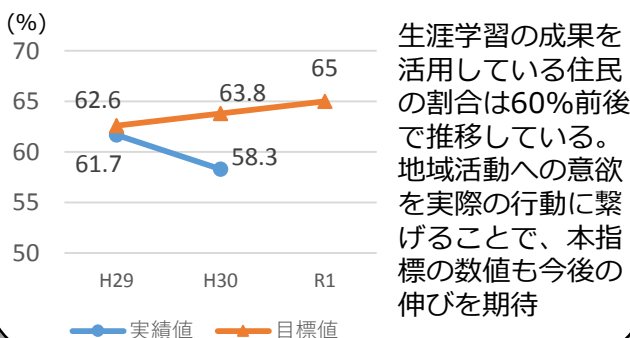
児童生徒の体力・運動能力の状況（小5）
男子・女子（施策③）



児童生徒の体力・運動能力の状況（中2）
男子・女子（施策③）



生涯学習の成果を活用している住民の割合
（%）（施策⑦）



【関連指標】

全日制道立高校において、在学中に1回以上インターンシップを経験した生徒の割合（施策⑥）

